



進学塾アペックス

アペックス便り 2月号

令和5年2月吉日

お知らせと今月の行事予定

※3月より新年度が開始します。入試最中の折ですが、来年度高校入試の説明会を2/25 [土曜]に北異教室でPM6時から開催します。新中3と保護者は必ず出席願います!!

【合格速報】合格おめでとう!!

- ※大谷麗凜子さん●四天王寺中学●桃山学院中学
- ※大山愛陽さん●初芝立命館中学●大阪女学院中学
- ※岸本美海さん●羽衣学園中学【特待生合格】

今月の予定

- 10日…私立高校入試
 - 11日進級説明会…対象中3
 - 13～24日成績懇談会
 - 25日…高校入試説明会
新中3対象[北異教室にて]
PM6:00開始
 - 28日…本年度最終授業
- 3/1より新年度授業開始!

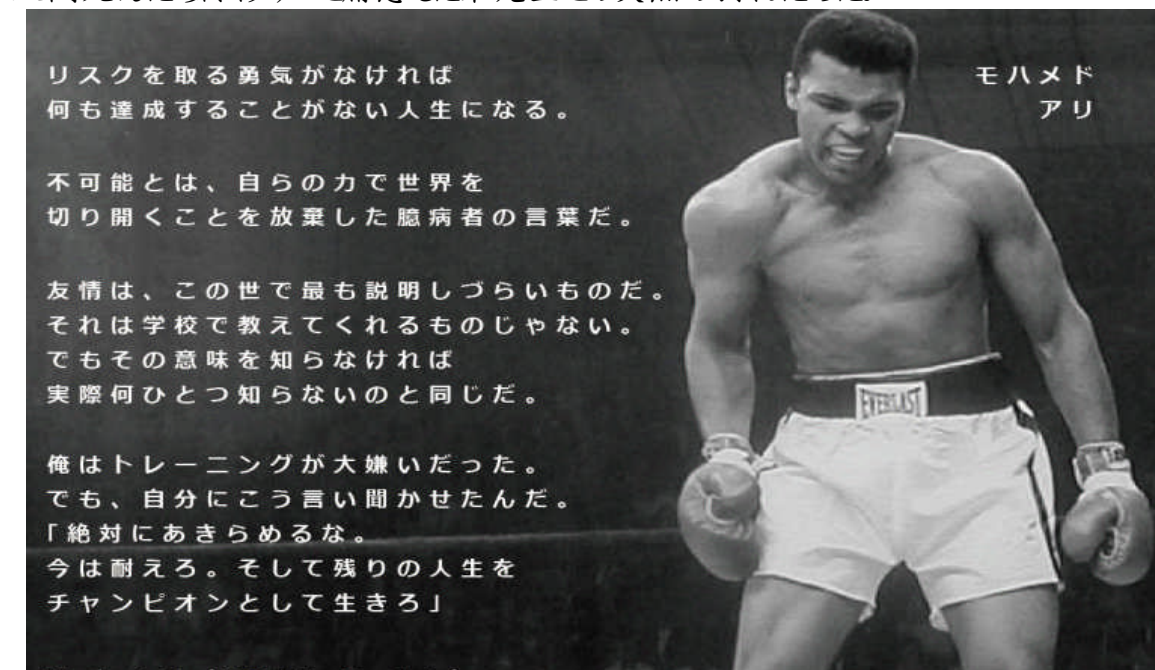


塾長の呟きブログ

前回の続き～少年期の出逢い～Part⑤

高校二年生のスタートは緩みがちな中、少し焦りを感じながらも楽しい日々は続いた。今でも親交がある友も、二年生のクラスでの出逢いだった。高い次元の夢を語り合いながら、切磋琢磨できたのは、後の人生航路の礎になったに違いない。邪心なく崇高な気持ちで「憧れ」を持つことは本当に大切だ。同じ人間として、自分の中での「ヒーロー」の存在は果てしなく大きい。高校二年と言えば、17歳だ。自我が出来始め、少年から青年へと脱皮過程での微妙な年齢だ。成長過程の中で自我の確立に果たす出逢いの影響は、その後の人生の歩みで、決定的になる事さえあると思う。その意味で、私がこの時期に出逢った三人の「ヒーロー」からは、途轍もなく大きな影響を受けたといっても過言ではない。一人はもちろん[梁先生]で、次は[モハメッド・アリ]だ。そして三人目は[アレックス・ヘイリー]との出逢いだ。彼らは私の精神的支柱の中心になり、青年期の数々の出逢いの因果となり、引力の働きを果たしてくれたと思う。彼らの生き様が自分の行動規範に与えた影響が大きいので、当然その後の私の、数々の経験の源泉にもなるからだ。梁先生以外の二人とは、実際の面識は無く、書物や映像や映画での出逢いとなるが、後の私の思考回路に与えた影響は絶大だ。いわば、私の人生のメンターだ。特に、梁先生との突然の別れの後の消失感と自失の中で彷徨った私が、再び歩みを取る勇気を貰えた二人の黒人、[モハメッド・アリ]と[アレックス・ヘイリー]は、今なお私の魂に燃え続けている。実際に、アメリカまで彼らの由来の地を訪ねたくらい、傾倒し尊敬して止まない黒人だ。

さて、私の医師への夢を後押ししてくれた梁先生との付き合いも1年半になろうとしていた。先生が研究活動の合間に来て頂ける。月に数度の家庭教師としての空間の共有は、私の未来の[可能の扉]としての門戸を無限に広げていく実感として胸に刻まれていった。しかし、梁先生との師弟関係はそう長くは続かなかった。梁先生は母の親戚との関係もあり、両親は丁重にもてなし、また敬意を払い、常々先生に感謝していた。多忙で家族サービスも儘ならない梁先生を見兼ね、我が家が毎年お世話になっている兵庫県香住海岸の民宿を紹介し、夏休みの先生の家族サービスの一助として、両親が一泊二日の海水浴旅行をプレゼントしたのが、運命の糸をいたずらに纏れさせたのかもしれない。梁先生も久しぶりに家族で海水浴を楽しんでくる、と喜んで出かけた矢先に、信じ難い電話の一報が、我が家に飛び込んできたのだ。今でもハッキリと覚えているが、思い出すと胸が締め付けられる気分になり、吐きそうになる。夏休み最後のうだる暑さの残暑の厳しい昼下がりだった。電話口で悲痛な叫び声をあげた母の声が、異常事態を物語っていた。梁先生が、香住海岸で溺死したのだ。なんと、溺れかけた我が子を救おうと犠牲になったということだった。幸い先生の子供は助かったが、先生は帰らぬ人となったのだ。享年42歳の若さだった。しかも、悔やみきれないのが、我が家が旅行を提供しなければ、先生は事故に遭遇しなかったかもしれないのだ。この事故は私の脳裏から離れず、その後数か月は精神的支柱を失ったショックと、消失感と、余計な旅行の提供との因果に苛まれ、私は狼狽し、虚無感に襲われ、自分がみるみるうちに壊れそうになっていく恐怖に茫然自失としていた。昨日まで元気に会っていた人を突然失う経験も初めてだったが、あんなに前途有望で世界を駆け巡っていた先生とも二度と会えないと思うだけで、胸が締め付けられてしまうのだ。そして、人生の儚さを無惨に見せ付けられた不条理に、打ちのめされそうになっていた。葬儀の後、私は毎週のように納骨されたお寺に参り、先生の亡骸の前で座り込む日々が続いた。「先生、なんで死んだのですか?」「これから僕はどうすれば良いのですか?」と問いかけても返事は無かった。人間死んだら終わり…と痛感した梁先生との突然の別れだった。



リスクを取る勇気がなければ、何も達成することがない人生になる。

不可能とは、自らの力で世界を切り開くことを放棄した臆病者の言葉だ。

友情は、この世で最も説明しづらいものだ。それは学校で教えてくれるものじゃない。でもその意味を知らなければ、実際何ひとつ知らないのと同じだ。

俺はトレーニングが大嫌いだった。でも、自分にこう言い聞かせたんだ。「絶対にあきらめるな。今は耐えろ。そして残りの人生をチャンピオンとして生きる」

モハメッド・アリ